

国際医療福祉大学
5キャンパス 11学部27学科

大田原
キャンパス

〒 324-8501
栃木県大田原市北金丸 2600-1

入試事務室
TEL. 0287-24-3200 FAX. 0287-24-3199

URL <https://otawara.iuhw.ac.jp/>
E-mail nyushi@iuhw.ac.jp

26万m²(東京ドーム約5.5個分)の広大な敷地に、学修・研究のための15棟の校舎とさまざまな設備を整備しています。キャンパス内に6つの医療福祉施設を併設しているのが、大田原キャンパスの大きな特長です。高齢者や障害を持つ方々と日常的に触れ合える教育・医療・福祉が一体となった理想的な教育環境のもと、医療福祉従事者にふさわしい人間性が形成されます。



保健医療学部
▶ 看護学科
▶ 理学療法学科
▶ 作業療法学科
▶ 言語聴覚学科

医療福祉学部
▶ 視機能療法学科
▶ 放射線・情報科学科
▶ 医学検査学科
(2025年4月開設)
【医療福祉・マネジメント学科】
【福祉系】
● 医療福祉コース
【マネジメント系】
● 診療情報管理・経営コース
※2025年度よりコースが新しくなります。

薬学部

ST 言語 聴覚学科

Speech-Language Hearing Therapist



国家資格 言語聴覚士

言語聴覚士は
コミュニケーションをサポートし、
その人らしい生活が
できるよう支援します。



成田キャンパス

千葉県成田市公津の杜4-3
TEL. 0476-20-7810

医学部
▶ 医学科
成田看護学部
▶ 看護学科
成田薬学部
▶ 薬学科(6年制) 2024年4月開設

成田保健医療学部
▶ 理学療法学科
▶ 作業療法学科
▶ 言語聴覚学科
▶ 医学検査学科
▶ 放射線・情報科学科

東京赤坂キャンパス

東京都港区赤坂4-1-26
TEL. 03-5574-3903

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部
▶ 心理学科 ▶ 医療マネジメント学科

小田原キャンパス

神奈川県小田原市城山1-2-25(本校舎)
TEL. 0465-21-0361

小田原保健医療学部
▶ 看護学科 ▶ 理学療法学科 ▶ 作業療法学科

大川キャンパス

福岡県大川市桜津137-1
TEL. 0944-89-2000

福岡保健医療学部
▶ 看護学科
▶ 理学療法学科
▶ 作業療法学科
▶ 言語聴覚学科(2023年度から募集停止)
▶ 医学検査学科

福岡薬学部
▶ 薬学科(6年制)



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

<https://www.iuhw.ac.jp/>

※国際医療福祉大学については
「国際医療福祉大学GUIDEBOOK2025」を、
大田原キャンパスについては
「大田原キャンパスGUIDEBOOK2025」を
ご覧ください。



2406



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。
国際医療福祉大学

大田原キャンパス

あなたは、今、 どんな未来を描いていますか？

言語聴覚士は
コミュニケーションを
サポートする国家資格です。

子どもから高齢者まで多くの方が、
言語聴覚士のサポートを必要としています。

「ことば」や「聞こえ」のようなコミュニケーションに問題が生じると、
意思を伝える、自分の心を表現する、新しいことを学習するなどのすべてが不自由になります。
コミュニケーションは社会的生活の基本であり、人間にとって決して欠くことのできない要素です。
言語聴覚士には、その人が持つことばの問題を理解するだけでなく、
その人がどのような生活や人生を築きたいと願っているのかを理解し、共感する力が求められます。
言語聴覚士は「飲み込み」の問題にも関わります。
飲み込む動作を嚥下(えんげ)といい、嚥下障害によって食べ物などが誤って気管や肺に入ることを誤嚥(ごえん)といいます。
高齢者の肺炎の多くがこの誤嚥に関係していると言われています。
進行する高齢社会において、言語聴覚士の担う役割はますます重要になっています。

■ 言語聴覚士は不足しています。

「コミュニケーションの専門職」として言語聴覚士の需要は今後さらに拡大するものと思われます。

有資格者数(2024年4月現在)

言語聴覚士
41,654人

言語聴覚療法を必要とする人
6,500,000人以上(推定)



■ ニーズが高まるリハビリテーション職

言語聴覚士は、高齢社会の進展に伴い、病院、福祉施設、リハビリテーションセンター、高齢者施設などの医療福祉分野でのニーズが拡大しており、慢性的に不足しています。さらに、新生児聴覚スクリーニングの普及によって早期発見された難聴児とその保護者を支援するために、言語聴覚士が必要です。また、特別支援学校や聞こえとことばの教室、療育施設など、子どもを対象に、教育・福祉現場でも言語聴覚士の専門性が求められているため、活躍の場は拡大し続けています。

「人と接することが楽しい」「子どもが好き」「誰かの役に立つ仕事がしたい」

そんな優しい想いがあなたに芽生えているなら、
ぜひ医療の扉を開いてください。
勇気を出して一步踏み出したその向こうには、「ことば」や「聞こえ」など
コミュニケーションに障害を抱える人たちがたくさんいます。

言語聴覚の世界は、今、あなたの力を求めています。



ことばの遅れや発達障害のある子ども
脳卒中などによって失語症になった方

ことば

失語症のある方に対しては、ことばを思い出す訓練や相手のことは聞き取る訓練を、ことばの遅いある子どもに対しては、発達の段階に合わせ、ことばを育む訓練を行います。

発音が不明瞭・声が出しにくい方



飲み込み

安全においしく食べるための機能回復を行います。医師や歯科医師とともに飲み込みの検査やリハビリテーションを実施します。



食事がうまくとれない高齢者の方
がんなどによって舌や喉頭を切除した方

言語聴覚士

Speech-Language-Hearing Therapist
医療現場では「ST」と呼ばれます。



発音・声

発音や発声の回復をめざし、必要な機能の活性化を図る訓練を行います。発語器官の運動訓練や呼吸筋の訓練などを行うこともあります。

聞こえ

声や音が聞き取りにくい方の聽力を確認したうえで、聞き取りの訓練を行います。補聴器の調整や扱い方も教えます。



認知

記憶力や注意力などの認知機能(高次脳機能)を改善するための訓練を行い、生活しやすくするためのアドバイスを行います。



認知や記憶に困難のある方

言語聴覚士の魅力と本学の学びの特長

人間力のあるコミュニケーションの専門家として幅広い領域のスキルにたけた言語聴覚士を育成。

言語聴覚士の仕事とは?

話す、聞く、表現する、食べる…。

誰でもごく自然に行っていることが、病気や事故、加齢などで不自由になることがあります。また、生まれつきの障害で困っている方もいます。こうした、ことばによるコミュニケーションや嚥下に問題がある方々の社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援するのが言語聴覚士の仕事です。



言語聴覚士の活躍と未来

言語聴覚士は1997年に国家資格化された比較的新しい専門職で、活躍の場は高齢社会の進展に伴い、病院や保健・福祉施設のほか、子供を対象とした教育・福祉現場にも拡大しています。野村総合研究所とオックスフォード大学の調査では、「AI(人口知能)やロボットではできない仕事・20年後に残る仕事」として精神科医と並んで1位となり、将来性が高い仕事といえます。

医療チームの一員として活動

医師・歯科医師・看護師・理学療法士・作業療法士など医療専門職、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・介護援助専門員などの保健・福祉専門職、教育、心理専門職などと連携し、言語聴覚士もチームの一員として活動します。

ライフステージの変化にあわせて働きやすい

言語聴覚士の職場環境は夜勤がなく、就業時間が規則的であることや産前・産後休暇・育児休暇の活用、託児所を併設している施設も多い点などから、結婚後も長く仕事が続けられるのも魅力のひとつです。言語聴覚士は国家資格であるため、一時に職を離れる時期があっても再就職は比較的容易であり、これまでの経験を次のステージに生かせるのも特長です。

必要な資質

言語聴覚療法の対象は、高齢者や乳幼児、事故や病気の後遺症で悩む方などさまざまであり、思い通りにことばを発してコミュニケーションが難しく、もどかしい気持ちでいる場合がほとんどです。患者さんと信頼関係を築くためには、知識や技術はもちろんのこと、観察力や想像力、患者さんに的確に伝えるための表現力、患者さんの思いを受け止めることのできる豊かな人間性が大切になります。

言語聴覚士に向いている人

人と接することが好きな人



子どもが好きな人



コツコツと何かをするのが好きな人



資格を生かし、人を支える仕事がしたい人



相手の言うことにじっくり耳を傾けられる聞き上手な方、人と接することが好きな方は長所が生かせる仕事です。

ことばの発達やそのお子さん自身の成長を近くで支援することができます。子どもに関わる仕事に興味のある方はやりがいを感じられる仕事です。

言語聴覚士になるためには幅広い分野の勉強をコツコツとやり遂げる粘り強さが求められます。さらに、患者さんに向き合い、長期間にわたる訓練を続ける根気強さが必要な仕事です。



大田原キャンパス
言語聴覚学科長
言語聴覚センター長
平島 ユイ子教授

国立広島大学学校教育学養護学校教員養成課程 卒業。
国立福岡教育大学大学院教育学研究科障害教育専攻 修了(修士)。
国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻 修了(博士)。
日本聴覚医学会・日本音声言語医学会合同委員会委員。
日本教育オーディオロジー研究協議会理事。
福岡国際医療福祉大学言語聴覚専攻科長を経て本学在任。

私たちにとって、「ことば」や「聞こえ」は、気持ちを伝え、社会とつながるためになくてはならないものです。また、「食べる・飲む」は、生きる喜びに関わるもので、しかし、これらが発達上の問題や病気によって困難になる場合があります。言語聴覚士は、専門的な知識と技術をもって、「ことば」「聞こえ」「食べる・飲む」に問題をもつ方々に訓練や指導を行います。対象は、乳幼児から高齢者まであらゆる年代の方々です。大田原キャンパスの特長は、カリキュラムと実習環境が充実していることです。キャンパス内に言語聴覚センターが併設されており、講義の内容を実際の臨床と結びつけて学ぶことができます。言語聴覚士は、文系、理系を問わない職種です。患者様にじっくり向き合い、深い信頼関係を築きながら支援することが求められます。人と関わることが好きで、社会の役に立つ仕事をしたいと考えるみなさんをお待ちしています。

充実した学びのサポートで 言語聴覚士を目指す学生を支援。

アドバイザー制度

入学時から卒業時までの4年間、アドバイザー教員が学習面から生活面まで大学生活の相談や支援を行います。アドバイザー教員ごとに小グループを形成し、定期的な面談や国家試験対策など細やかに指導します。



国家試験サポート

大田原キャンパス言語聴覚学科は、国家試験合格者数は開学以来全国1位です。この秘訣は、低学年から始まる国家試験対策模試や4年次の国家試験対策講義、アドバイザーグループによる学び合いなど、本学独自の国家試験対策にあります。豊富な経験をもつ教員たちが国家試験の問題傾向を分析し作成したオリジナル模試や国家試験対策講義が段階的に設定され、実力をつけていきます。



1998年から26年連続で全国1位。 全国トップクラスの国家試験合格者数

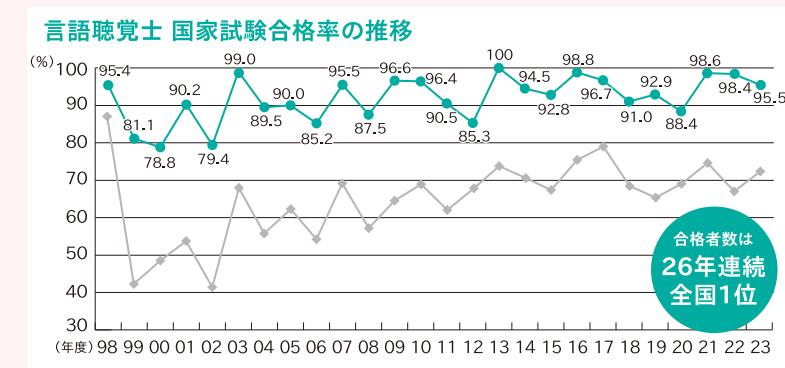
本学では国家試験全員合格をめざして、これまで蓄積してきた指導ノウハウを用いた国家試験対策を早期から展開し、合格へ導く体制を整えています。豊富なデータから出題傾向を分析し、模擬試験を年に複数回実施しています。その結果、26年連続で合格者数全国1位を達成しています。

合格率
95.5%

全国合格率 72.4%

2024年度
合格者数
全国1位

合格者 63名



充実の実習環境と実務経験豊富な教員

恵まれた実習環境を生かし、臨床経験豊かな教員が直接臨床実習の指導を行います。

アジア有数の言語聴覚センターを併設 他大学に類をみない最先端の実習環境を整備

大田原キャンパスには、最先端の演習設備があり、学生は充実した評価検査機器を日常的に使用できます。特に、キャンパス内にアジア有数の設備が整えられた言語聴覚センターがあり、実習施設として頻繁に利用されています。教員から直接指導を受けながらさまざまな障害に対応した実習を行うことができ、学んだ知識を実践する機会が多くあるので、実際の現場で役立つ、十分な経験を積むことができます。

このほか6つの附属病院をはじめ、臨床医学研究センターという位置づけの関連病院・施設を各地に保有しており、これらの施設で最新のスキルを修得できます。

国際医療福祉大学クリニック

言語聴覚センター（大田原キャンパス内）

言語聴覚センターは、言語聴覚障害の治療やリハビリテーションを専門的に行う、アジアでも有数の専門施設です。幅広い言語聴覚障害に専門的に対応する当センターは、小さなお子さんから高齢者の方まで、近隣地域の方に頼られるだけでなく、遠方からも専門的な治療を求めて来られる患者様が多くいらっしゃいます。特に、子どもの言葉の相談、吃音や声の相談、聞こえの相談、飲み込みの相談などに対応する専門外来を設け、専門性を磨いた言語聴覚士が、耳鼻咽喉科や小児神経科の医師と協働して対応しています。学生は1年次から4年次まで臨床実習施設として当センターを利用し、臨床の最前線を感じながら学修を進めることができます。言語聴覚学科教員は当センターで臨床に従事しており、講義と実習を車の両輪と考え、臨床に即した教育を行います。



STセンター（施設概説）



耳鼻咽喉科診察室
言語聴覚士は医師の診察に同席し、指導・訓練方針を話し合います。学生は見学実習を行います。



グループセラピー室
個別だけでなく、集団での指導・訓練を通して、より実践的なコミュニケーション能力を高めます。



準備室（成人用／小児用）
マジックミラーから訓練室内の指導・訓練の様子を見学し、言語聴覚士の臨床技術や対応を学びます。



聴覚検査室・防音室
赤ちゃんから高齢者まで聴力検査ができるよう、防音室と各種聴力検査機器が整備されています。

確実な専門技術の習得には、
講義、演習、臨床実習が点と線でつながること。

言語聴覚学科
教授 | 前新 直志

言語障害を理解するためには、まずことばの生成メカニズムを知る必要があります。発音は呼気を利用し声帯でつくられた音を口(特に舌)や鼻で細かく変化させることで可能となります。例えば、「ぢ」と「じ」の発音の違いは何でしょうか? 「ば」と「ぱ」は同じ口の動きなのに、なぜ異なる音になるのでしょうか? 小さい「っ」の発音方法は? 音声言語医学や音声学、構音障害学などを学ぶと分かりますが、ことばがつくられるメカニズムには不思議で意外な点がいくつもあります。演習では、声帯(喉頭)模型を使って器官構造を学び、音響分析で実際の声を分析しながら、ことばの生成メカニズムと病態理解を深めていきます。しかし、一方でことばはコミュニケーションにとって絶対的ではありません。“目は口ほどに物を言う”ということわざもありますが、ことばの問題で苦労する患者さんと長く接していると、ことば以上に大切なことがたくさんあることに気づかれます。言語聴覚センターでの実習では、ことばとコミュニケーションの重要性を踏まえた言語治療技術を修得します。豊富な臨床経験と研究に従事してきた教員が多い本学科は、患者さんの心に寄り添い、共に生きる関係性と円滑なコミュニケーション支援を主体的に担える言語聴覚士を養成していきます。

自ら考える高い思考力を有した
言語聴覚士の育成をめざします。

言語聴覚学科
准教授 | 平田 文

言語聴覚士は、「話す」「聞く」「育む」「食べる」の専門家です。私が担当している講義「摂食嚥下障害学ⅠⅡ」は、食べる機能の障害に対するリハビリテーションを学びます。講義では、患者様の嚥下造影検査(食べ物を飲み込む様子をレントゲンで撮影する検査)や嚥下内視鏡検査(食事中の喉を内視鏡で観察する検査)の画像を元に嚥下障害メカニズムについて学ぶ講義や、実際の食べ物やトロミ調整飲料を用いて嚥下リハビリの手技を学ぶアクティブラーニングを行います。また、摂食嚥下リハビリテーションにはチームアプローチが欠かせないため、本学の特色である「関連職種連携教育」で臨床実践力を養います。

附属病院や臨床医学研究センターが実習を強力にバックアップ

専門スキルを身につけるうえで特に重要なのは「臨床実習」の環境です。

附属病院のほか臨床医学研究センターという位置づけの関連施設を多く持つ本学では、充実した臨床実習を行っています。

附属病院(一部抜粋)



国際医療福祉大学病院
(栃木県那須塩原市)

国際医療福祉大学塙谷病院
(栃木県矢板市)

国際医療福祉大学成田病院
(千葉県成田市)

国際医療福祉大学市川病院
(千葉県市川市)

国際医療福祉大学三田病院
(東京都港区)

国際医療福祉大学熱海病院
(静岡県熱海市)

言語聴覚士をめざす学生

同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら、言語聴覚士をめざす学生たち。
授業や実習で得た経験や将来像について語ってもらいました。

※学生の学年は2022年時点のものです。

患者さんの想いに 寄り添える言語聴覚士に

青木 奏寧さん（1年）

茨城県 茨城キリスト教学園高等学校出身

身近に吃音がある人がいたこともあり、高校の授業で知った「ことば」や「聞こえ」を仕事とする言語聴覚士に興味を持ちました。当大学を進学先に選んだのは、言語聴覚の治療に特化した言語聴覚センターで学べることと、国家試験の合格率がトップクラスで多くの卒業生を輩出していることです。大学の授業は高校と比べ、自分で時間割を決めなければならなく、授業時間も長く集中力が大切です。一つひとつの授業が言語聴覚士になるための勉強なので、知識が身についていることを実感したときは充実感が得られます。

実習で得た経験をモチベーションに

今野 祥理さん（3年）

福島県立安達高等学校出身

3年次の授業はより専門性が高まり、さまざまな検査について学びます。ただ覚えるだけではなく、論理的な思考が求められる実践的な授業が増え、2年次までに積み重ねてきた基礎が思考の糧となっている感じています。また3年次は臨床での実習が始まります。実習では事前に患者さんの情報を調べ、問題点を抽出し、評価計画を作成します。実際に患者さんとお会いして各種検査を行い、結果に基づき評価するのですが、患者さんが伝えようとする内容をうまく汲み取れず、悔しい思いもしました。今は実習での経験がモチベーションアップにつながっています。

授業での学びを臨床でイメージ

岩間 舞花さん（2年）

秋田県立花輪高等学校出身

2年次からは授業は応用的なものとなり、難易度が高くなります、1年次での勉強を振り返りながら学修ていきます。また病院での見学実習もあるので、働いている言語聴覚士の姿を間近で見ることで、患者さんへの接し方や他職種との関わり方を学べ、具体的な仕事内容をイメージすることができるようになりました。現在はさまざまな言語聴覚障害の特徴に加えて、臨床での対応方法や評価の仕方について学んでいます。なかでも失語症の症状は人それぞれで、細かい違いを見分けながら評価をしなければならないという難しさがあるため、とても興味深く学んでいます。

言語聴覚士の可能性を実感

林 珠希さん（4年）

栃木県立小山高等学校出身

4年間の学びを通して言語聴覚士の活躍の場の広さを知ると同時に、専門性を生かし多くの患者さんと接することができる職業であると実感しています。現在は卒業に向けて、国家試験勉強と卒業研究に取り組んでいます。国家試験勉強は幅広い領域の勉強が必要なため大変ですが、模試や対策講義で苦手分野が克服できるよう頑張っています。また卒業研究では高次脳機能障害について取り組んでおり、アンケートの作成方法やデータのまとめ方などを学んでいます。将来的には小児から成人まで多くの患者さんの力になりたいと考えています。

言語聴覚学科の4年間の学び

1年次

言語聴覚療法の基礎を幅広く学ぶ。

言語聴覚士の役割・職務、言語聴覚障害の種類と症状について基礎的な知識を学修。人体の構造と機能や疾病を理解します。また、本学関連施設で、子どもや高齢者とのコミュニケーション技能を修得します。

1年次の主なカリキュラム

- 専門基礎科目
- リハビリテーション概論
 - 保健医療福祉制度論
 - 解剖学
 - 生理学
 - 病理学
 - 医療概論
 - 生涯発達心理学
 - 神經心理学
 - 言語学
 - 基礎音声学

- 専門科目
- 言語聴覚障害学概論
 - コミュニケーション技能演習

- 総合科目
- 大学入門講座
 - 英語講読
 - 英語CALL

2年次

「ことば」と「聞こえ」、「飲み込み」の問題の発生メカニズムに迫る。

「ことば」と「聞こえ」、「飲み込み」の障害について総合的に学ぶ1年間。また、対象者を正確に評価・診断するための知識と技法を修得します。教員の臨床を見学しながら、臨床家としての第一歩を踏み出します。

2年次の主なカリキュラム

- 専門基礎科目
- 関連職種連携論
 - リハビリテーション医学
 - 小児学
 - 臨床神経学
 - 臨床歯科医学
 - 音声言語医学
 - 中枢神経機能学
 - 聴覚医学
 - 臨床心理学
 - 学習心理学
 - 認知心理学
 - 心理測定法
 - 心理測定法演習
 - 言語心理学
 - 言語発達学
 - 音声学
 - 音声音響学

- 専門科目
- コミュニケーション障害演習
 - 失語症・高次脳機能障害学総論
 - 言語発達障害学各論
 - 聴覚障害学総論
 - 聴覚機能評価学
 - 発声発語障害学総論
 - 流暢性障害学
 - 構音障害学

3年次

評価・訓練・指導法を体系的に学修。 実践で使える技能に発展させる。

各種障害(失語症、高次脳機能障害、音声障害、構音障害、聴覚障害、言語発達障害、摂食・嚥下障害)を専門的に学び、評価・訓練・指導法を体系的に学修。評価実習で、知識から実際に使える技能へと結びつけます。

3年次の主なカリキュラム

- 専門基礎科目
- 関連職種連携ワーク
 - 内科学
 - 精神医学
 - 耳鼻咽喉科学
 - 形成外科学
 - 口腔外科学
 - 聴覚心理学

- 専門科目
- 言語聴覚障害診断学
 - 失語症学
 - 失語症・高次脳機能障害学演習
 - 高次脳機能障害学
 - 言語発達障害学
 - 聴覚補償論
 - 小児聴覚障害学
 - 成人聴覚障害学(二重障害を含む)
 - 構音障害学
 - 音声障害学
 - 摂食・嚥下障害学
 - 言語聴覚障害基礎演習
 - 臨床実習Ⅰ(基礎)
 - 言語聴覚障害研究法

4年次

附属施設や全国の病院で最先端の臨床技術を修得。

言語聴覚センターをはじめとする本学の附属・関連施設や全国の医療機関で、総合実習を実施し、総合的な臨床力を養います。卒業前には、最新の知識や臨床技術を学んだうえで、社会へと巣立ちます。

4年次の主なカリキュラム

- 専門基礎科目
- 関連職種連携実習

- 専門科目
- 言語聴覚療法特論
 - 言語聴覚障害学特論(総括)
 - 臨床実習Ⅱ(総合)
 - 卒業研究

言語聴覚士として活躍する卒業生

大学での学びを生かして専門分野で活躍する卒業生に、現在の仕事内容ややりがいについて話してもらいました。

佐鳥 春奈さん

国際医療福祉大学病院

リハビリテーション室 勤務(2017年度卒)

病院では多職種が連携して、患者様が家庭・社会復帰できるように取り組んでいます。その中で私は言語聴覚士として、コミュニケーション障害や摂食嚥下障害を持つ患者様を担当しています。病院での言語聴覚士の仕事は、人の生活に欠かせない「話す、聞く、食べる」ことに問題を抱えた方々のお手伝いをします。具体的には言語機能が低下し言葉が出にくくなった患者様には、その症状が生じる原因を調べ、言葉の訓練を行います。今まで食べていた食事が嚥下障害により食べられなくなってしまった患者様には、安全に食事が摂れるような飲み込み方を訓練し、むせずに食べられるようにします。人によって生じる障害は異なっているため、それぞれの患者様をよく見て、一番適した訓練方法を行うよう心掛けています。



関根 茉央さん

国際医療福祉大学クリニック

言語聴覚センター 勤務(2021年度卒)

発達障害や知的障害を持つお子さんの言葉や学習の相談・指導を中心に、大人の方の発音や吃音、聞こえ、飲み込みの相談・指導などにも携わっています。訓練や指導は小児科や耳鼻科の医師、臨床心理士と連携し、また臨床経験豊富な大学の先生方と協力して行います。こどもの遅れや友達とうまく関わらない、読み書きができない、発音が不明瞭、どもりがあるお子さんに対して、検査や指導を行い、言葉やコミュニケーションの発達の促進、学習の支援、発音の改善をめざします。臨床後にお子さんから「ありがとう」「今日も楽しかった」という言葉や、幼児から関わっていたお子さんの保護者から「先生に指導していただいたよかったです」と言っていただけたときは、言語聴覚士になって本当に良かったと思います。



中山 陽介さん

山王メディカルセンター

国際医療福祉大学東京ボイスセンター 勤務(2016年度卒)

ボイスセンターは「声」と「のど」を専門に外科治療やリハビリ治療を行う施設です。日本でも有数の、声を専門とする医師と連携して治療を行っています。具体的には「声が出ない」「かすれ声で話すことに苦痛を感じる」など、声を出すことに困難を感じる方や声をお仕事とする方へ高度な音声・言語リハビリテーションを提供しています。声はコミュニケーションを行う上で大きな役割を果たし、その方の仕事や人生にも影響を与えるものです。そんな声に対する悩みを聞き、一緒に解決に向かって頑張る過程や、その方の悩みを解決できたときにやりがいを感じます。患者様と向き合う中で、医学的な知識だけでなく、臨床実習で培ったコミュニケーション能力が生かされていると感じています。



それぞれの患者様に
適したサポートで支えたい



感謝 の言葉が元気の源



患者様に寄り添い悩みを解決したい



一人ひとりの適性に合わせたサポートで、学生全員を医療福祉の世界へ送り出しています

医療福祉系大学のなかでも 圧倒的な求人件数と、高い就職率

本学卒業生の実績や評判によって、全国から数多くの求人が寄せられており、その数は約1,600件ものぼります。さらに言語聴覚学科教員の強力なバックアップ体制とキャリア支援センターのきめ細かなサポートによって、全員が希望通りの就職先を選択することができます。

言語聴覚学科 求人件数
(2024年3月31日現在)
※全キャンパスの求人件数

言語聴覚学科
卒業生就職率
(2023年度卒業生)

1,607 件 100%

ここに 注目!

活躍のフィールド

言語聴覚士は医療機関だけでなく、保健・福祉機関、教育機関など幅広い領域で活躍しており、ことばや聞こえに問題をもつ方とご家族を支援しています。

医療施設

大学病院、総合病院、
専門病院、
リハビリテーションセンター、
地域医療、
診療所など

保健施設

介護老人保健施設、
デイケアセンター、
訪問看護事業所、
訪問リハビリテーション
事業所など

福祉施設

特別養護老人ホーム、
デイサービスセンター、
肢体不自由児施設、
重症心身障害児施設など

教育機関

小中学校、特別支援学校、
研究施設、
言語聴覚士教育施設
(大学、短大、専門学校)など

学生の未来を手厚くサポート キャリア支援センター

キャリアコンサルタントが学生の強み「乗り越える力」を引き出し、在学中はもちろん卒業後も継続してさまざまなキャリア支援を行います。



就職実績 (2024年3月卒業生実績)

- 本学グループ施設 (栃木県) 国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センター／国際医療福祉大学病院／国際医療福祉大学塩谷病院／国際医療福祉リハビリテーションセンター (千葉県) 国際医療福祉大学成田病院
- グループ以外 (青森県) なんば耳鼻咽喉科 (岩手県) 奥州病院 (宮城県) 仙台リハビリテーション病院 (秋田県) 秋田県立病院機構 (山形県) 社会医療法人みゆき会 (福島県) 脳神経疾患研究所附属南東北福島病院 (茨城県) 茨城県西部メディカルセンター／日立総合病院／筑波学園病院 (栃木県) 栃木県立リハビリテーションセンター／とちぎメディカルセンター／栃木県済生会宇都宮病院／一般社団法人つばさ／宇都宮記念病院／新小山市民病院／栃木県医師会塩原温泉病院／那須北病院／白澤病院／うつのみや児童発達支援事業所にっことキッズ (群馬県) 沼田脳神経外科循環器科病院／くすの木病院 (埼玉県) 圏央市沢病院／戸田中央総合病院／埼玉医科大学国際医療センター／三愛会総合病院／川越リハビリテーション病院／川口きゅううばらリハビリテーション病院／大宮中央総合病院 (千葉県) 船橋市立リハビリテーション病院 (東京都) 初台リハビリテーション病院／竹の塚脳神経リハビリテーション病院／北原国際病院／北原リハビリテーション病院／献血供給事業団／明理会東京大和病院／株式会社トモエ／Global Kids Method(グローバルキッズメソッド) (神奈川県) 横浜旭中央総合病院 (山梨県) 甲州リハビリテーション病院／竜王リハビリテーション病院 (静岡県) 伊東市民病院／静岡リハビリテーション病院 (和歌山県) 愛徳医療福祉センター (大阪府) 株式会社アーバンリサーチ

